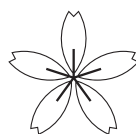


令和 6（2024）年度

「外国高等学校出身者」および「海外帰国生徒」対象入学

学生募集要項

本要項の記載内容は変更となる場合があります。
最新の情報は本学入試情報ホームページ（<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>）
に掲載する「学生募集要項 変更点一覧」にてお知らせいたしますので、必ず出願前（入
学検定料納付前）ならびに受験前にご確認ください。



学 習 院 大 学

この「学生募集要項」には、出願から入学手続完了までのすべての事項が記載してあります。熟読して、間違いのないように十分に注意してください。

—目 次—

① アドミッション・ポリシー	1
② 趣旨	12
③ 試験日程・試験科目等一覧	13
④ 出願資格・出願書類	14
出願資格	14
A. 外国高等学校出身者	14
B. 海外帰国生徒	15
出願書類	17
⑤ 志願票①（記入例）	19
⑥ 出願期間	20
⑦ 出願上の注意	20
⑧ 入学検定料	20
⑨ 受験票	21
⑩ 受験上の注意	21
⑪ 合格発表	22
⑫ 入学手続	22
⑬ 入学辞退について	22
⑭ 過去5年間の選考結果	23
⑮ 納付金	24
⑯ 「外国高等学校出身者および海外帰国生徒対象入学」出願に関するQ & A	25
⑰ 入学検定料の返還について	27
⑱ 構内案内図	28

個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報について、法律及び「学習院個人情報保護規程」に基づき慎重に取り扱っております。

出願及び入学手続においてご記入いただいた住所、氏名、生年月日などの個人情報は、「入学試験の実施」「合格発表」「入学手続」及びこれらに付随する業務の処理を行うために利用します。

また、統計処理した上記個人情報を、学習院大学における「入学者選抜方法の検討」「教育改善のための調査・研究」「大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画）」「広報活動」及びこれらに付随する業務のための資料として利用します。

なお、処理業務の一部は、本学アドミッションセンターより機密保持条項を含む契約を締結した業者に委託し、その際、必要な範囲で個人情報の全部又は一部を提供しますので、あらかじめご了承ください。

学習院大学 アドミッション・ポリシー

学習院大学は、大学全体の理念・目的を、以下のとおり定めています。

「学習院大学は、精深な学術の理論と応用とを研究教授し、高潔な人格及び確乎とした識見並びに健全で豊かな思想感情を有する、文化の創造発展と人類の福祉に貢献する人材を育成することを目的とする。」

これを具現化するために、全ての学部・学科、研究科・専攻において、教育研究上の目的及び教学に関わる3つの方針（卒業認定・学位授与の方針：ディプロマ・ポリシー、教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー、入学者受入れの方針：アドミッション・ポリシー）を、別に定めています。

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、学習院大学ホームページをご覧ください。

https://www.univ.gakushuin.ac.jp/about/introduction/policy/edu_policy.html

① アドミッション・ポリシー

学習院大学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、各学部・学科及び研究科・専攻で掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

法学部

法学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

法学科

法学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。
(知識・技能)

1. 幅広い教養と専門知識を修得するための基盤となるよう、高等学校卒業相当の学力を有している。
2. 自分の考えを伝え、他者の考えを理解するための前提として、高等学校卒業相当の国語及び外国語等の知識を備えている。
3. 深い洞察力と論理的思考力を養うために、高等学校卒業相当の数学・地理歴史・公民等の知識を備えている。

(思考・判断・表現)

4. 物事を多面的に分析した上で、様々な意見を理解し、自らの考えにつき積極的に表現することができる。

(関心・意欲・態度)

5. 社会の諸活動・諸現象に関心を持ち、自分なりの問題意識をもって物事を主体的に分析するとともに、他者の考えを理解しようとする意欲・態度を有している。

政治学科

政治学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。
(知識・技能)

1. 幅広い教養と専門知識を修得するための基盤となるよう、高等学校卒業相当の学力を有している。
2. 自分の考えを伝え、他者の考えを理解するための前提として、高等学校卒業相当の国語及び外国語等の知

識を備えている。

3. 深い洞察力と論理的思考力を養うために、高等学校卒業相当の数学・地理歴史・公民等の知識を備えている。

(思考・判断・表現)

4. 物事を多面的に分析した上で、様々な意見を理解し、自らの考えにつき積極的に表現することができる。

(関心・意欲・態度)

5. 社会の諸活動・諸現象に関心を持ち、自分なりの問題意識をもって物事を主体的に分析するとともに、他者の考えを理解しようとする意欲・態度を有している。

入学者選抜ごとの評価項目

法学部

入学者選抜ごとに、以下のとおり評価項目を取扱います。
 ※入学者に期待する能力を、◎=非常に重要、○=重要、で表示

入学者選抜	選抜方法	知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性を 持って多様 な人々と協 働して学ぶ 態度	備考
一般選抜（コア試験）	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（プラス試験）	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（大学入学共通テスト利用入学者選抜）	大学入学共通テスト	◎	○		
学校推薦型選抜（指定校）	調査書	◎		○	出席回数や学習状況を本学入学後の勉学意欲について評価する際の参考にします。
	推薦書	○	○	◎	高等学校等における諸活動に関する記載から、主に主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価します。
	志望理由（志願票裏面）			◎	本学入学後の勉学意欲および本学部への適性について評価します。
	英語資格・検定試験	◎			
学校推薦型選抜（公募制） ※政治学科のみ実施	調査書	◎		○	出席回数や学習状況を本学入学後の勉学意欲について評価する際の参考にします。
	推薦書	○	○	◎	高等学校等における諸活動に関する記載から、主に主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価します。
	志望理由書			◎	本学入学後の勉学意欲および本学部への適性について評価します。
	活動報告書			◎	高等学校等における諸活動に関する記載から、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価します。
	英語資格・検定試験	◎			
	英語問題	◎	○		
	論述問題	○	◎		
	面接	○	○	◎	
「外国高等学校出身者」 および 「海外帰国生徒」対象入学	志願票②（本学で何を学びたいのか、海外生活で何を得たのか等）			◎	本学入学後の勉学意欲および本学部への適性について評価します。
	日本の高等学校の調査書	◎		○	出席回数や学習状況を本学入学後の勉学意欲について評価する際の参考にします。
	外国学校の成績証明書	◎			
	資格証書	◎			
	小論文（日本語）	○	◎		
編入学	面接（日本語）	○	○	◎	
	志望理由（志願票裏面）			◎	本学入学後の勉学意欲および本学部への適性について評価します。
	筆記試験	◎	◎		
	面接		○	◎	

経済学部

経済学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

経済学科

経済学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（思考・判断・表現）

2. 身近な経済・社会問題に対して、知識や情報をもって、一貫した筋道を立てて考察することができる。
3. 与えられた課題や資料の内容を正確に読み取った上で、考えをまとめ、的確に発信し、表現することができる。
4. 科学、芸術、自然、文化、スポーツなど幅広い分野に関心を持ち、多様な価値観を認めた上で、自らの考えを相手に伝えることができる。

（関心・意欲・態度）

5. 経済学に関心があり、その専門知識や経験を会得し、日常生活や社会において活かしたいという意欲がある。
6. 歴史、政治、地理、言語など、経済と関わりがある幅広い分野に関心がある。
7. 積極的に他者とコミュニケーションをとることによって、相互理解に努めようとする意欲がある。

経営学科

経営学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（思考・判断・表現）

2. 身近な企業の活動、経済、政治、社会の動きに対して、正確な知識や情報を収集し、一貫した筋道を立てて思考する力を備えている。
3. 与えられた課題や資料の内容を正確に読み取った上で、考えをまとめ、的確に発信し、表現する力を持っている。

（関心・意欲・態度）

4. 経営学に関心があり、その専門知識や経験を会得し、日常生活や社会において活かしたいという意欲がある。
5. 科学、芸術、自然、文化、スポーツなど幅広い分野に関心を持ち、世界各地で共通する価値とともに多様な存在を受け入れることができる。
6. 積極的に他者とコミュニケーションをとり、相互理解に努める意欲があり、柔軟性のある思考をすることができる。

入学者選抜ごとの評価項目

経済学部

入学者選抜ごとに、以下のとおり評価項目を取扱います。
 ※入学者に期待する能力を、◎=非常に重要、○=重要、で表示

入学者選抜	選抜方法	知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性を 持って多様 な人々と協 働して学ぶ 態度	備考
一般選抜（コア試験）	筆記試験	◎	◎		本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断する
一般選抜（プラス試験）	筆記試験	◎	◎		本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断する
一般選抜（大学入学共通テスト利用入学者選抜）	大学入学共通テスト	◎	◎		本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断する
学校推薦型選抜（指定校）	調査書	◎	◎	◎	本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを確認する
	推薦書	○	○	○	受験者の人と成りについて客観的な見解を得る
	志望理由（志願票裏面）		◎	◎	志望理由と本学で提供する教育プログラムとの適合性を判断する
	英語資格・検定試験	○			
学校推薦型選抜（公募制）	調査書	○	○	○	本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断する
	推薦書	○	○	○	受験者の人と成りについて客観的な見解を得る
	志望理由書		◎	◎	志望理由の高さとともに、志望理由と本学の教育プログラムとの適合性を判断する
	活動報告書	◎		◎	課外活動や社会活動など、学力試験だけでは評価しにくい資質や能力を判断する
	英語資格・検定試験	○	○		
	小論文		◎	◎	本学での学びに必要な基礎学力を有しているか、自分の考えをまとめる能力を有しているかどうかを判断する
	面接		◎	◎	他者と協働するコミュニケーション能力と自分の考えを表現する力を判断する
「外国高等学校出身者」 および 「海外帰国生徒」対象入学	志願票②（本学で何を学びたいのか、海外生活で何を果たしたのか等）		◎	◎	志望理由と本学で提供する教育プログラムとの適合性ととともに、当該受験者の海外経験が学部の多様性や活性化に与える効果を判断する
	日本の高等学校の調査書	◎	○	○	本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断する
	外国学校の成績証明書	◎	○	○	本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断する
	資格証書	◎			
	外国語（英文和訳）	◎	◎		
	面接（日本語）		◎	◎	他者と協働するコミュニケーション能力と自分の考えを表現する力を判断する
外国人留学生入学試験	志願票（志望理由、学習計画等）		◎	◎	本学での学びに必要な基礎学力とともに、志望理由と本学で提供する教育プログラムとの適合性を判断する
	日本留学試験	◎			日本語での基礎学力を判断する
	面接（日本語）		◎	◎	日本語で自分の考えを表現するコミュニケーション能力、協働して学ぶ態度を判断する
編入学	志望理由（志願票裏面）		○	○	志望理由と本学部で提供する教育プログラムとの適合性を判断する
	筆記試験	◎	◎		本学での学びに必要な基礎学力を有しているかどうかを判断する
	面接		◎	◎	他者と協働するコミュニケーション能力と自分の考えを表現する力を判断する

文学部

文学部では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

哲学科

哲学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 自身の見地から物事を論理的に考え、その内容、過程、結果などを的確に表現し、伝えることができる。

(関心・意欲・態度)

3. 哲学・思想史と美学・美術史の諸問題に、授業内容の修得にとどまらず、自発的に関心を持ち、その関心をより深めるために学問、調査、研究を行う意欲がある。

史学科

史学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 先入観なく、人間社会の多様なあり方を認識し、あくまで証拠(史資料)に基づいて合理的に判断し、その結果を論理的に説明できる。

3. 社会で起こっている諸現象に対して、日常的に証拠を考えたり、その現象が起こる理由や影響を考えたりする習慣を高校生らしい感性で身につけている。

(関心・意欲・態度)

4. 自らの研究課題を見つけるため、高等学校の授業の他、自発的な読書や博物館等の見学、ボランティアなどの課外活動を積極的に行い、過去の歴史的な社会のみならず、現代社会の諸現象への問題意識を持っている。

日本語日本文学科

日本語日本文学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

2. 教科書だけでなく、興味のあることについて読書をする習慣を養っている。

(思考・判断・表現)

3. 日本語・日本文学・日本文化・日本語教育について、深い興味と関心を持っているとともに、話す・聞く・読む・書くというコミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。

4. 高等学校までの英語などの外国語教育をいかして、世界と交流する自覚を持っている。

(関心・意欲・態度)

5. 日本語・日本文学・日本文化・日本語教育に関する現代的、国際的、あるいは歴史的な諸問題について、気になることを発見したら、図書館やインターネットなどを活用して、自主的な学習に取り組む意欲がある。
6. 収集した知識や情報をもとに、論理的に考察して、その結果を説明することができる。

英語英米文化学科

英語英米文化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 身近な社会問題に対して主体的に関心を持ち、知識や情報を基に論理的に考え、その判断を具体的に表現できる。

(関心・意欲・態度)

3. 英語スキルに関して強い向上心を持つとともに、英語圏社会・文化と関わる領域で卒業後の希望・進路に合わせて具体的な目標を定め、持続的・継続的にトレーニングを実行できる。

ドイツ語圏文化学科

ドイツ語圏文化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 現代社会において身近に見られる言語・文化に関係する事柄や社会的問題について関心を持ち、情報を積極的に求め、自分なりの思考を展開することができる。
3. 与えられた情報の内容の概略を適切にまとめ、それに対する自らの考えを明確に筋道をたてて説明することができる。

(関心・意欲・態度)

4. ドイツ語圏の言語・文化・社会事情について強い関心を持ち、さらにヨーロッパや世界情勢と関連させて考えようとする意欲がある。
5. 他者の意見に耳を傾け、積極的にコミュニケーションをとる姿勢がある。

フランス語圏文化学科

フランス語圏文化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 高等学校の国語、とくに現代文において、文学作品に偏らず、社会・政治・哲学的内容をもった批評文を読み解き、その論の妥当性を判断し、自分の考えを言葉で表現することができる。

(関心・意欲・態度)

3. フランス語圏のみならず、広く外国の文化現象に対して好奇心を持ち、日常的な読書などを通じて、その好奇心を積極的に深める習慣を持っている。

心理学科

心理学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 科学的思考を用いることができる。
3. 自分の見方・考え方を相対化することができ、その上で相手に伝えることができる。
4. 心に対する一般的な見方や個人の経験に根ざした先入観にとらわれずに、心理に関わる問題について考えることができる。

(関心・意欲・態度)

5. 人間とその心に対する純然たる興味・関心を持っている。
6. 個人や社会が抱える心理的問題の解決を通じて、社会へ貢献する志向を持っている。

入学者選抜ごとの評価項目

文学部

入学者選抜ごとに、以下のとおり評価項目を取扱います。
 ※入学者に期待する能力を、◎＝非常に重要、○＝重要、で表示

入学者選抜	選抜方法	知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性を持つ て多様な人々 と協働して学 ぶ態度	備考
一般選抜（コア試験）	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（プラス試験） ※心理、教育学科のみ実施	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（大学入学共通テ スト利用入学者選抜）	大学入学共通テスト	◎	◎		
学校推薦型選抜（指定校）	調査書	◎		◎	高等学校での学習成果・出席状況などを見る
	推薦書	○		○	
	志望理由（志願票裏面）	○	○	◎	本学入学後の学習目標、志望学科への適性などを見る
	英語資格・検定試験 ※英語英米文化学科のみ	◎			
	口頭試問 ※英語英米文化学科以外 で実施	○	◎	◎	
学校推薦型選抜（公募制）	調査書	◎		◎	高等学校での学習成果・出席状況などを見る
	推薦書	○		○	
	志望理由書	○	○	◎	本学入学後の学習目標、志望学科への適性などを見る
	小論文	○	◎		
	面接	○	◎	◎	
「外国高等学校出身者」 および 「海外帰国生徒」対象入学	志願票②（本学で何を学 びたいのか、海外生活で 何を得たのか等）	○	○	◎	本学入学後の学習目標、志望学科への適性、海外での学習成果などを見る
	日本の高等学校の調査書	◎		◎	高等学校での学習成果・出席状況などを見る
	外国学校の成績証明書	◎		◎	高等学校での学習成果・出席状況などを見る
	資格証書	◎			
	外国語	◎	◎		
	日本語	◎	◎		
	小論文（日本語）	○	◎		
	面接（日本語）	○	◎	◎	
外国人留学生入学試験	志願票（志望理由、学習 計画等）	○	○	◎	本学入学後の学習目標、志望学科への適性などを見る
	筆記試験	◎	◎		
	面接	○	◎	◎	
編入学	志望理由（志願票裏面）	◎	○	◎	本学入学後の学習目標、志望学科への適性などを見る
	外国語に関する既取得資 格等記入票	◎			
	現在（2年次）履修中の 科目記入票	◎			
	筆記試験	◎	◎		
	面接	○	◎	◎	

理学部

理学部では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

物理学科

物理学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っている。
2. 物理学分野についての能力や知識がある。

(思考・判断・表現)

3. 論理的に考えることができ、自然や数理の世界を観察できる。
4. 幅広い自然科学の知識に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝えることができる。

(関心・意欲・態度)

5. 実験や計算をすることに積極的で、熱意と好奇心にあふれている。
6. 理科系の分野だけでなく、語学や国語にも力を入れ、幅広い分野に関心がある。

化学科

化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っている。
 2. 化学分野についての能力や知識がある。
- (思考・判断・表現)
3. 論理的に考えることができ、自然や数理の世界を観察できる。
 4. 幅広い自然科学の知識に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝えることができる。

(関心・意欲・態度)

5. 自分の手を動かし、実験や計算をすることに積極的で、熱意と好奇心にあふれている。
6. 理科系の分野だけでなく、語学や国語にも力を入れ、幅広い分野に関心がある。

数学科

数学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っている。
 2. 高等学校で学ぶ数学分野についての能力や知識がある。
- (思考・判断・表現)
3. 自分の頭でしっかりと物を考え、自分の目で自然や数理の世界を観察できる。
 4. 定理や公式の本質を理解し、基本に立ち戻って考えることで未知の問題に対処できる。

(関心・意欲・態度)

5. 自分の手を動かし、実験や計算をすることに積極的で、熱意と好奇心にあふれている。
6. 理科系の分野だけでなく、幅広い分野に関心がある。

生命科学科

生命科学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っている。
2. 生命科学分野についての能力や知識がある。

(思考・判断・表現)

3. 自分の頭でしっかりと物を考え、自分の目で自然や数理の世界を観察できる。
4. 幅広い自然科学の知識に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝えることができる。

(関心・意欲・態度)

5. 自分の手を動かし、実験や計算をすることに積極的で、熱意と好奇心にあふれている。
6. 理科系の分野だけでなく、語学や国語にも力を入れ、幅広い分野に関心がある。

入学者選抜ごとの評価項目

理学部

入学者選抜ごとに、以下のとおり評価項目を取扱います。
 ※入学者に期待する能力を、◎＝非常に重要、○＝重要、で表示

入学者選抜	選抜方法	知識・ 技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体性を 持って多様 な人々と協 働して学ぶ 態度	備考
一般選抜（コア試験）	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（プラス試験） ※物理、数学科のみ実施	筆記試験	◎	◎		
一般選抜（大学入学共通テ スト利用入学者選抜） ※化、生命科学科のみ実施	大学入学共通テスト	◎	◎		
学校推薦型選抜（指定校）	調査書	◎		○	高等学校での学習成果および出席状況を見る。
	推薦書	○		○	
	志望理由（志願票裏面）		○	◎	今後の目標、勉学意欲、協働して学ぶ態度等を見る。
	口頭試問	○	◎		
学校推薦型選抜（公募制）	調査書	◎		○	高等学校での学習成果および出席状況を見る。
	推薦書	○		○	
	志望理由書		○	◎	今後の目標、勉学意欲、協働して学ぶ態度等を見る。
	筆記試験	◎	◎		
	面接	◎	◎		
「外国高等学校出身者」 および 「海外帰国生徒」対象入学	志願票②（本学で何を学び たいのか、海外生活で何 を得たのか等）		○	◎	海外経験で得たもの、今後の目標、勉学意欲、 協働して学ぶ態度等を見る。
	日本の高等学校の調査書	○		○	高等学校での学習成果および出席状況を見る。
	外国学校の成績証明書	○		○	高等学校での学習成果および出席状況を見る。
	資格証書	◎			
	筆記試験	◎	◎		
	面接	○	○	◎	
編入学	志望理由（志願票裏面）		○	◎	今後の目標、勉学意欲、協働して学ぶ態度 等を見る。
	筆記試験	◎	◎		
	口頭試問	◎	○	◎	

② 趣旨

本学では、海外での生活・就学の経験を持つ生徒を積極的に受け入れることで、学生の構成を多様化して学部
 の活性化をはかるとともに、社会で貢献できる幅広い人材を育成していくことを目的として、「外国高等学校
 出身者」および「海外帰国生徒」を対象に、優秀な生徒を選抜するための特別の入学試験制度を設けています。

③ 試験日程・試験科目等一覧

* 出願は、1つの学部・学科に限ります。

* 同一試験日の他の入試制度との併願はできません。

第1次選考【法・経済学部】提出された書類により総合的に判断し合否判定を行います。

※文学部と理学部は1次選考（書類選考）を実施しません。

最終選考【法学部】筆記試験、面接により総合的に合否判定を行います。

【経済・文・理学部】筆記試験、面接、提出された書類により総合的に合否判定を行います。

学部	法学部	経済学部	文学部	理学部
学科	法学科 政治学科	経済学科 経営学科	哲学科 史学科 日本語日本文学科 英語英米文化学科 ドイツ語圏文化学科 フランス語圏文化学科 心理学科	物理学科 化学科 数学科 生命科学科
募集年次	1年次（2024年4月入学）			
募集人員	各学科 若干名	各学科 若干名	各学科 若干名	各学科 若干名
出願期間	8月16日（水）～8月18日（金）（出願期間内必着）			10月27日（金）～ 11月2日（木） （出願期間内必着）
第1次選考合格発表	9月15日（金） 本学ホームページでの発表および郵送	9月15日（金）	/	
最終選考検定料納付期間	9月15日（金）～ 9月21日（木）	9月15日（金）～ 9月21日（木）		
最終選考	9月30日（土） 小論文（日本語） 10：00～11：30 面接（日本語） 13：30～	9月30日（土） 外国語（英文和訳） 10：00～11：30 面接（日本語） 13：30～	9月30日（土） 外国語 9：00～10：00 ¹ 日本語 10：40～11：40 小論文（日本語） 12：10～13：10 面接（日本語） ^{2,3} *1 外国語は英・独・仏・中国語のうち1言語。 ただし、英語英米文化学科へ出願する場合は、英語を選択すること。 *2 面接において、英語英米文化学科では英語で簡単な質問を行うことがあります。また、ドイツ語圏文化学科では、ドイツ語既習者に対してドイツ語で簡単な質問を行うことがあります。フランス語圏文化学科では、フランス語既習者に対してフランス語で簡単な質問を行います。 *3 面接の時間は当日指示します。	11月26日（日） 物理学科：物理と数学の基礎的な筆記試験（30分程度）の後、面接試験を行います。 化学科：化学と数学の筆記試験の後、面接試験を行います。 数学科：数学の筆記試験の後、面接試験を行います。 生命科学科：理科（出願時に生物・化学・物理のうち1科目を選択）の筆記試験の後、面接試験を行います。 ※面接試験は日本語で行います。 ※試験場・時間は、受験票に記載します。
最終選考合格発表	10月6日（金）10：00 本学ホームページでの発表および郵送			12月8日（金）10：00
入学手続締切	10月19日（木）			12月21日（木）
延納分納入締切	11月30日（木）			/

* 試験場については、28頁を参照してください。

* 入学手続時納付金の納付方法は2段階方式です（法・経済・文学部のみ）。延納手続方法については、22頁を参照してください。

本要項の記載内容は変更となる場合があります。

最新の情報は本学入試情報ホームページ (<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>) に掲載する「学生募集要項 変更点一覧」にてお知らせいたしますので、必ず出願前（入学検定料納付前）ならびに受験前にご確認ください。

4 出願資格・出願書類

受験希望者は、「A 外国高等学校出身者」と「B 海外帰国生徒（日本の高等学校≪中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ≫出身者）」とがあるので、対象となる項目を読んでください。

[出願資格]

A 外国高等学校出身者（*1）

次の1～3（法学部・経済学部へ出願の場合は1～4）の条件を満たしている者。

1. 日本国籍を有する者または日本国の永住権を有する外国籍の者であること。
2. 以下の①・②のいずれかに該当する者であること。
 - ① 外国において、最終学年を含めて2学年（*2）以上継続して学校教育を受けていること。
 - * 外国高等学校の最終学年とその前の学年すべてに在籍していること。
 - ② 外国において、最終学年を含み、日本での中等教育（中学1年～高校3年）に相当する学年の内、通算して4学年（*2）以上学校教育を受けていること。
 - * 外国高等学校の最終学年すべてと、それ以外に、中等教育相当学年に通算して3学年（*2）以上在籍していること。

（ただし、必要単位取得等により繰上げ卒業した者またはその見込者は、繰上げ卒業時から逆算し2学年以上在籍していること。また外国に設置されている学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校—在外教育施設—に在学した者については、その期間を、外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。）
3. 以下の①～⑤のいずれかに該当する者であること。
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を、2022年4月1日から2024年3月までに、卒業（修了）した者または同見込の者。
 - * 「繰上げ」または「飛び級」の結果、通算年数が12年に満たないで卒業（修了）した者または同見込の者を含む。
 - * 「12年の課程」には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれる。
 - * 外国において12年に満たない課程であっても、高等学校に対応する学校の課程で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者も含まれる。
 - ② 2021年1月1日以降に、外国において、国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書（IBD）を授与された者で、2024年4月1日までに18歳に達する者。
 - ③ 日本国内の学校（*3）を卒業（修了）し、国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を2022年または2023年に授与された者。
 - ④ 2022年1月1日以降に、各国の教育制度によりその国の大学受験資格を取得した者。
 - ⑤ 上記の資格条件と同等の資格があると本学が認めた者。
4.
 - ① 法学部への出願にあたっては、高等学校卒業時に実施される国家試験等の統一試験またはこれに準ずる試験、もしくは自身の語学力を示す外国語検定試験のいずれかを受験しており、その合格を証明する書類または公式スコア（資格証書）が提出できること。（自身の語学力を示す外国語検定試験

の合格を証明する書類または公式スコアは、出願時に取得後2年以内のものに限る)

- ② 経済学部へ出願にあたっては、TOEFL® iBT (Internet-based Test) を受験しており、出願時に取得後2年以内のスコアが提出できること。

(*1) ー日本国内にある外国学校 (アメリカンスクールなど) は不可。

(*2) ー「○学年以上」という要件は、「学年」でカウントするため、○学年の全学期分の海外の成績の提出が必要。

(*3) ー国際バカロレア事業に参加している在日国際学校など。

B 海外帰国生徒 (日本の高等学校出身者)

次の1~2の条件を満たしている者。

1. 日本国籍を有する者または日本国の永住権を有する外国籍の者であること。
2. 以下の学部別条件を満たしていること。

法学部・経済学部・理学部に出願する場合

- ① 中・高等学校を通じ、2学年 (*) 以上継続または通算して3学年 (*) 以上海外で外国の教育課程に基づく教育を受け、原則として2022年9月1日以降に日本国内の高等学校 (在外教育施設、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体 (WASC、CIS、ACSI、NEASC) から教育活動等に係る認定を受けた教育施設を含む) に編入した者で、2024年3月までに卒業または同見込の者。

または、

中・高等学校を通じ、数か年継続して海外で外国の教育課程に基づく教育を受けた者で、高等学校卒業程度認定試験 (旧大学入学資格検定) 合格者および2024年3月までに合格見込の者。ただし、原則として2022年9月1日以降に帰国した者に限る。

- ② 法学部のみ

高等学校卒業時に実施される国家試験等の統一試験またはこれに準ずる試験、もしくは自身の語学力を示す外国語検定試験のいずれかを受験しており、その合格を証明する書類または公式スコア (資格証書) が提出できること。(自身の語学力を示す外国語検定試験の合格を証明する書類または公式スコアは、出願時に取得後2年以内のものに限る)

- ③ 経済学部のみ

TOEFL® iBT (Internet-based Test) を受験しており、出願時に取得後2年以内のスコアが提出できること。

文学部に出願する場合

中・高等学校を通じ、2学年 (*) 以上継続または通算して3学年 (*) 以上海外で外国の教育課程に基づく教育を受け、原則として2021年9月1日以降に日本国内の高等学校 (在外教育施設、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体 (WASC、CIS、ACSI、NEASC) から教育活動等に係る認定を受けた教育施設を含む) に編入した者で、2024年3月までに卒業または同見込の者。

または、

中・高等学校を通じ、数か年継続して海外で外国の教育課程に基づく教育を受けた者で、高等学校卒業程度認定試験 (旧大学入学資格検定) 合格者および2024年3月までに合格見込の者。ただし、原則として2021年9月1日以降に帰国した者に限る。

(外国に設置されている学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育をしている学校ー在外教育施設ーに在学した者については、その期間を、外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。)

* 「○学年以上」という要件は、「学年」でカウントするため、○学年の全学期分の海外の成績の提出が必要。

- ① 「A 外国高等学校出身者」、「B 海外帰国生徒」いずれへの出願においても、出願資格に疑問（在籍期間が若干不足、日本の高等学校への編入時期が9月1日より若干早い、等）がある場合には、法学部・経済学部・文学部は7月11日（火）～7月14日（金）の間に、理学部は9月13日（水）～9月27日（水）の間に本学アドミッションセンターにお問い合わせください。
- ② 身体機能の障がいにより、受験および就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、7月14日（金）までに必ず本学アドミッションセンターにお問い合わせください。

問合せ先：学習院大学アドミッションセンター TEL (03) 5992-1083

(03) 5992-9226

E-mail adms-enq@gakushuin.ac.jp

【出願書類】 出願者は、各自用意した封筒（角形2号）に所定の出願封筒貼付用紙を貼付し、出願期間内に下記の書類を全て本学アドミッションセンターに郵送（簡易書留かつ速達扱い）してください。
出願書類の記入欄は特段の理由がない限り自筆で記入してください。自筆が困難な場合はその理由を記載してください。

提出する書類は全てコピーを取って、提出後も確認できるようにしておいてください。

本学でチェック後、志願者に確認を取ることがあります。そのため、電話とメールには対応できるようにしてください。

A：外国高等学校出身者 B：海外帰国生徒（◎全員必須／○該当者必須／△任意／－不要）

A	B	出 願 書 類
◎	◎	1. 志願票①（写真1枚貼付）〈本学所定用紙〉 ・ 19頁の記入例を参考に、必要事項を記入すること。 ・ 「A 外国高等学校出身者」と「B 海外帰国生徒」では、所定用紙が異なるので注意すること。
◎	◎	2. 志願票②〈本学所定用紙〉
◎	◎	3. 写真票兼入学検定料受取書（大学提出用）〈本学所定用紙〉（写真1枚貼付）
◎	－	4. 外国高等学校の卒業（修了）証明書または同見込証明書 成績証明書に卒業年月が明記されている場合は省略可。
－	◎	5. 日本の高等学校の調査書（厳封）*5
○	－	6. 日本の高等学校の成績証明書（厳封）*5 (注記) 「A：外国高等学校出身者」のうち、日本の高等学校に在籍したことがある者。 必ず在籍期間を明記すること（在籍期間が含まれていない場合は在籍期間証明書をあわせて提出すること）。在籍期間が短く成績証明書が発行できない場合は成績証明書に代えて在籍期間証明書を提出すること。
◎	◎	7. 外国学校（高等学校）の成績証明書 *1, *2, *5 ・ 出身学校（外国）が作成したもの。 ・ 成績証明書記載事項のうち、科目名・成績評価等が符号または略字により表示されている場合には、必ずその説明を添付すること。 (注記) ア. 転校等により複数の高等学校に在籍した者。 それぞれ在籍した学校から発行してもらうこと（ただし、最終の外国学校でそれまでの成績を認定され、全ての成績が記載されている場合、最終学校の成績証明書のみで可）。 イ. 成績証明書の提出が不可能な者（例：イギリス・オーストラリア・ニュージーランド他） これに代わるものとして学期ごとの学業評価レポート等の写しを提出すること。
◎	◎	8. 外国学校の在籍期間証明書 *1, *2, *5 ・ 出身学校（外国）が作成したもの。 ・ 原則として、〈本学所定用紙〉での作成を依頼し、公印を押してもらうこと。 ・ 高等学校の発行した 在籍期間証明書 で出願資格を満たすために必要な修了学年数を確認できない場合は、高等学校全期間分の 在籍期間証明書 に加えて、出身中学校（外国）が作成した 在籍期間証明書 も提出すること。 (注記) ア. 出身学校で作成されたものがある場合は、本学の所定用紙でなくてもよい。 イ. 7.の「成績証明書」に入学（転入）・卒業（転出）年月が明記されている場合（複数の場合はそれぞれについて）、本証明書の提出は不要。 ウ. 転校等により、複数の高等学校に在籍した者は、本学所定用紙をコピーし、それぞれ在籍した学校で発行してもらうこと。 エ. 本学所定用紙は本学ホームページからダウンロード可能。 https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/related/request/download/overseasreturn.html
○ 経済のみ	○ 経済のみ	9. TOEFL[®] スコア票【経済学部出願者のみ】 *1, *3 iBT (Internet-based Test) のスコア票。 (スコアは出願時に取得後2年以内のもの) ※スコア票…Official Score Reports (レポート上は Institutional Score Report と記載) または Test Taker Score Report (ETS が発行し郵送されたものは認めます。ETS アカウ ント上でダウンロードしたものの印刷は認めません。)

A	B	出 願 書 類
○ △ (法) (経済・文・理)	○ △	10. 資格証書 (原本) * 1, * 3, * 4 (A: 外国高等学校出身者) は以下の①～⑩のうちいずれかを提出することが重要。 法学部法学科出願者は、①～⑦、⑩のうちいずれかを必ず1つ以上提出すること。 法学部政治学科出願者は、①～⑩のうちいずれかを必ず1つ以上提出すること。 経済学部出願者は、①を必ず提出し、かつ②～⑨のうちいずれかを提出することが重要。 理学部出願者は、②～⑨のうちいずれかを提出することが重要。 ① TOEFL®スコア票…Official Score Reports (レポート上は Institutional Score Reportと記載) または Test Taker Score Report (ETSが発行し郵送されたものは認めます。ETSアカウント上でダウンロードしたものの印刷は認めません。) ② アメリカの教育制度による者 (CB実施試験の成績評価証明書) ・SAT Reasoning Test™ ③ イギリスの教育制度による者 GCE、GCSEの成績評価証明書 (「語学」「社会科学」「自然科学または数学」の3分野にわたって5科目以上であることが望ましい。さらに、5科目のうち3科目は「GCE Aレベル」であることが望ましい。) ④ フランスの教育制度による者 ・バカロレアの成績評価証明書 ・バカロレアを取得していない者は、12年の学校教育の課程を修了していることを示す出身学校発行の証明書 ⑤ ドイツの教育制度による者 アビトゥアの成績評価証明書 ⑥ その他の国の教育制度による者 統一試験のある国については、その試験制度についての公式資料および出願者の成績評価証明書 ⑦ 国際バカロレア (IB) の教育制度による者 国際バカロレア資格を取得した者は、その資格証書の写し、およびIB最終試験6科目 (24ポイント) の成績評価証明書 ⑧ 外国の大学に正科生として在学している者 在学証明書および出願までに取得した単位に関する成績証明書 ⑨ 日本留学試験を受けた者 独立行政法人 日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験した者は、オンライン上のマイページから印刷した成績確認書 ⑩ 自身の語学力を示す外国語検定試験の合格やスコアを証明する書類
○	○	11. その他 「飛び級」「繰上げ卒業」に該当する者 成績証明書・在籍期間証明書にその旨の記載がない場合は、それを証明する出身学校の作成した書類を提出すること。 「高等学校卒業程度認定試験 (旧大学入学資格検定) 合格者および合格見込み者」に該当する者 合格 (見込) 成績証明書
△ (該当者のみ)	△ (該当者のみ)	12. 日本国の永住権を有する外国籍の者であることを示す書類 「在留カードの写し」または「住民票」(住民票の場合には「在留資格」が明記されているもの)

出願書類に関する留意事項

- * 出願書類1～3, 8は本学所定用紙です。
- * 特に海外から取り寄せる証明書類、資格証書等は、余裕を持って早めに準備をしてください。
- * 1. 外国学校発行の卒業 (修了) 証明書または同見込証明書・成績証明書・在籍期間証明書については、コピーの提出を認めます。
(在籍期間証明書については、押印またはサインがあるもののコピーのみ認めます。)
- * 2. 外国学校発行の各証明書類の厳封は不要です。各自で開封し、記載内容に誤りや不足がないか、出願要件を満たしている内容であるか、必ず確認した上で提出してください。
例えば、本学では、証明書に記載されている日付 (卒業や在籍期間を示しているものを指し、発行日ではない) について、年度だけでなく月まで必要となりますが、不備の者が多く、例年不受理となる者がいるので注意してください。
※不備の例 From 2021 to 2023 ⇒ 正しい例 From 2021.9 to 2023.6
- * 3. TOEFL の Official Score Reports (レポート上は Institutional Score Report と記載) または SAT のスコアを本学に提出する場合は、出願締切までに到着するよう、余裕を持った日程で手続を行ってください。出願締切に間に合わない場合は無効となります。(スコアが出願期間前に到着してもかまいません。)
なお、TOEFL、SAT のスコアの提出を申し込む際に必要となる本学の大学コードは TOEFL 「0408」、SAT 「0052」です。
- * 4. 資格証書に関しては、原本の提出を原則とします。(返却はいたしませんのでご注意ください。)
原本が1部しかない等の理由で提出できない場合は、下記 a, b いずれかの方法により、原本証明済のコピーを提出することができます:
a. 原本を在学高等学校・予備校等に持参し、コピーを取ってもらい、コピーの内容が原本と相違ないことの証明を受ける。(証明の際は、証明日・証明者名を明記のうえ、証明機関の印を押印)
b. 原本を本学アドミッションセンターに持参し、アドミッションセンター職員がコピーを取り、コピーの内容が原本と相違ないことを証明する。(学習院大学アドミッションセンターの証明印を押印します。)
- * 5. 在籍していた全ての高校について、在籍期間 (入学・転入・転出の年月) と成績を証明する必要があります。例年、提出した書類に一部記載がなく、書類不受理となるケースがあるためご注意ください。

⑥ 出願期間

【法・経済・文学部】

2023年8月16日(水)～8月18日(金)(出願期間内必着)

【理学部】

2023年10月27日(金)～11月2日(木)(出願期間内必着)

出願書類を出願用封筒(角形2号の封筒を使用)に入れて、上記出願期間内に本学アドミッションセンター宛に郵送してください。なお、記載内容について説明を求める場合は出願書類提出後、3週間を目安に下記の電話番号、またはメールにて問い合わせを行いますのでご確認をお願い致します。本学からの問い合わせに対し、返答が確認できない場合は出願を受理できない場合がありますのでご注意ください。

学習院大学アドミッションセンター

電話番号：03-5992-1083・03-5992-9226

メールアドレス：adms-enq@gakushuin.ac.jp

⑦ 出願上の注意

- ① 提出書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳を添付してください。
- ② 原則、出願書類は、全てそろわないと受理しません。
- ③ 出願に際し虚偽の申請を行った者は、入学資格を失います。
- ④ 手続後は、書類の訂正や返却には一切応じません。
- ⑤ 複数の学部・学科に出願することはできません。
- ⑥ 出願に際して、本学からの問い合わせに対し、返答が確認できない場合は出願を受理できない場合があります。

⑧ 入学検定料(銀行等振込)

- ① 本学所定の振込依頼書を使用し、最寄りの銀行等より電信扱いで各納付期間内に振り込んでください。この期間外は取り扱いません。なお、ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込はできません。現金自動預払機(ATM)、インターネットによる振込は行わないでください。振込は日本国内からのみとし、国外からの振込・送金は認めません。

I. 法学部・経済学部

第1次選考検定料納付期間：2023年8月9日(水)～8月18日(金)

第1次選考検定料 15,000円

第1次選考合格発表 2023年9月15日(金)10:00

最終選考検定料納付期間：2023年9月15日(金)～9月21日(木)

最終選考検定料 20,000円

※第1次選考に合格した出願者は、最終選考検定料を納付期間内に日本国内の銀行等から振り込んでください。振込依頼書は合格者本人宛に郵送します。

II. 文学部

入学検定料納付期間：2023年8月9日(水)～8月18日(金)

入学検定料 35,000円

III. 理学部

入学検定料納付期間：2023年10月20日(金)～11月2日(木)

入学検定料 35,000円

(土・日・祝日は振込みが出来ませんのでご注意ください。)

- ② 入学検定料振込依頼書（取扱店保存）のコード欄には、下表の志望学科コード（2桁）を必ず記入してください。

法学部		経済学部		文学部		理学部	
法学科	11	経済学科	21	哲学科	31	物理学科	41
政治学科	12	経営学科	22	史学科	32	化学科	42
				日本語日本文学科	33	数学科	43
				英語英米文化学科	34	生命科学科	44
				ドイツ語圏文化学科	35		
				フランス語圏文化学科	36		
				心理学科	37		

- ③ 写真票兼入学検定料受取書（大学提出用）は写真を貼付し、他の出願書類と共に提出してください。
- ④ 検定料を銀行に振り込んだ後は、学部学科を変更することはできません。
- ⑤ いったん提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします（27頁参照）。この場合、返還には時間がかかりますので予めご承知おきください。
- また、振込手数料については返還することができません。

9 受験票

法学部・経済学部志願者は**9月12日（火）**、文学部志願者は**9月19日（火）**、理学部志願者は**11月14日（火）**までに受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまで問い合わせてください。

10 受験上の注意

- ① 最終選考の試験場は構内案内図（28頁）を参照してください（試験室は、当日掲示にてお知らせします）。理学部は受験票発送時にお知らせします。
- ② 最終選考の受験者は、必ず試験開始時刻の20分前までに試験場に入り、自分の受験番号の席についてください。
- ③ スマートフォン・携帯電話・スマートウォッチ等は最終選考の試験場（教室）に入る前に、電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。スマートフォン・携帯電話・スマートウォッチ等を時計の代用として使用することは一切認めません。携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞆等に入っている場合は鞆ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
- ④ 試験内容に係る撮影・録画・録音を禁止します。
- ⑤ 試験開始後20分を過ぎた場合は、原則として試験場に入ることを認めません。
- ⑥ 受験票は、試験の当日かならず携帯し、試験場では机の上に置いてください。
- ⑦ 試験開始後40分間は、退室を認めません。
- ⑧ 試験の際、不正行為を行った者は、受験および入学資格を失います。

11 合格発表

【法・経済】

第1次選考合格発表 2023年 9月15日(金) 10:00

最終合格発表 2023年10月 6日(金) 10:00

【文学部】

合格発表 2023年10月 6日(金) 10:00

【理学部】

合格発表 2023年12月 8日(金) 10:00

1. 本学入試情報ホームページ (<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>) に合格者の受験番号一覧を掲載します。
また、合格者には、併せて「手続書類等」を速達郵便で送付します。
2. 合格に関する問い合わせには、一切応じません。

12 入学手続（詳細は、合格者に送付する「入学手続要項」を参照してください）

「高等教育の修学支援新制度」（授業料等減免）について

本学は、2019年9月付で国の「高等教育の修学支援新制度」による授業料等減免の対象校として認定されました。授業料等減免に関する申請手続については入学後に案内を行いますので、同制度の利用希望者であっても、合格者は一律に本要項及び入学手続要項に沿って入学手続を完了してください。

1. 入学手続締切日 **法学部・経済学部・文学部** 2023年10月19日(木)
理学部 2023年12月21日(木)
2. 受付方法 必要書類を簡易書留（かつ速達扱い）で郵送してください。
*入学手続締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。
*卒業見込（修了見込・合格見込）で出願した者については、後日、卒業証明書等の提出が必要となります。なお、2024年3月までに卒業または修了することができない方は、入学資格が取り消されます。
*いったん提出された書類は、一切返却いたしません。
3. **授業料等の延納手続について**（法・経済・文学部のみ）
授業料等の延納を希望する者は、**当該学部の入学手続締切日**までに入学金を納入すれば、法学部・経済学部・文学部は**2023年11月30日(木)**まで延納分の授業料等を延納することができます（詳細は「入学手続要項」に記載）。

13 入学辞退について

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望し、**2024年3月31日16:00**までに本学（アドミッションセンター）に申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料・施設設備費他）を返還します。詳細は、合格者に送付する「入学手続要項」を参照してください。

14 過去5年間の選考結果

学部	学科	2023年度		2022年度		2021年度		2020年度		2019年度	
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
法	法学科	13	7	21	10	25	9	11	4	12	5
	政治学科	26	9	31	16	21	14	16	11	10	6
経済	経済学科	5	2	9	5	10	2	10	2	10	2
	経営学科	15	6	16	3	17	4	23	8	20	7
文	哲学科	6	1	5	2	7	4	9	3	3	2
	史学科	1	0	7	3	4	1	3	1	3	2
	日本語日本文学科	7	0	5	2	1	1	7	3	8	3
	英語英米文化学科	8	5	12	5	18	7	18	10	16	4
	ドイツ語圏文化学科	4	2	2	0	4	2	3	0	2	1
	フランス語圏文化学科	2	1	3	2	4	1	3	2	4	2
	心理学科	16	6	22	7	18	4	15	4	13	5
理	物理学科	3	3	0	0	2	0	1	1	1	0
	化学科	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0
	数学科	0	0	6	3	0	0	3	0	1	1
	生命科学科	4	1	1	0	4	1	0	0	3	0

15 参考：2023 年度学習院大学入学者納付金

(単位：円)

区分 費目	法学部	経済学部	文学部		理学部	
			哲学科・史学科 日本語日本文学科 英語英米文化学科 ドイツ語圏文化学科 フランス語圏文化学科	心理学科 教育学科	物理学科 化学科 生命科学科	数学科
入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
授業料 第1期 ※1	448,000	448,000	485,000	485,000	647,000	647,000
授業料 第2期 ※2	328,000	328,000	365,000	365,000	527,000	527,000
研究実験費	—	—	—	30,000	80,000	—
施設設備費	270,000	270,000	270,000	270,000	330,000	330,000
父母会費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
輔仁会費	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300
学習院大学新聞代 学生会費	500 2,500	500 —	500 2,000	500 2,000	500 —	500 —
1 年次						
入学時納付額	932,300	929,800	968,800	998,800	1,268,800	1,188,800
第2期 納付額 ※2	328,000	328,000	365,000	365,000	527,000	527,000
合計	1,260,300	1,257,800	1,333,800	1,363,800	1,795,800	1,715,800
2 年次以降						
第1期 納付額	732,300	729,800	768,800	798,800	1,068,800	988,800
第2期 納付額	328,000	328,000	365,000	365,000	527,000	527,000
合計	1,060,300	1,057,800	1,133,800	1,163,800	1,595,800	1,515,800

※1 在籍料 120,000 円を含んだ金額です。

※2 第2期分の振込依頼書は、9月中旬に保証人宛に送付いたします。

注意 1. 2年次以降の納付は毎年第1期分を4月、第2期分を9月の年2回に分けて行います。

なお、4月に年額を1回で納付することもできます。

2. 2023年度入学者の納付金のうち、授業料および施設設備費については、卒業まで同額とします。授業料および施設設備費以外の納付金に変更があった場合には、新たに定められた金額を納付するものとします。

参考：その他資格取得の場合の納付額（教職課程・学芸員課程）（2023年度参考）

教職課程： 教職課程履修費として、正式履修開始年度に、15,000円（正式履修者全員）

介護等体験費として、体験年度に、10,450円（小・中学校の免許取得希望者）

学芸員課程： 博物館に関する科目履修費として履修開始年度4月に 10,000円

博物館実習履修費として実習履修年度4月に 5,000円

○上記納付金のほかに、校友会基本会費（永年同窓会費：徴収は1回のみ）35,000円を入学後3年目の学費第1期分にて徴収いたします。

校友会基本会費に関するお問合せは、校友会事務局にご照会願います。

校友会事務局 03-3988-3288 学習院目白キャンパス内

学習院大学新入学生特別給付奨学金

本学では、新入学生の納付金負担を軽減するため、入学後に200,000円（入学金相当額）を給付する奨学金制度を設けております。申請要件等の詳細は学生センター学生課までお問い合わせください。

寄付金

本学では、新入学生のご父母・保証人の皆様に、学習院の発展並びに教育改革推進のためのご寄付（任意）をお願いしております。入学後に改めてご案内をお送りする予定でございますので、ご理解のうえご協力くださいますようお願い申し上げます。

16 「外国高等学校出身者および海外帰国生徒対象入学」出願に関するQ & A

本学入試情報ホームページ <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>

問い合わせ先 (03)5992-1083・(03)5992-9226 学習院大学アドミッションセンター

1. 出願資格について

Q1. 出願資格に関して質問があります。

A1. 法学部・経済学部・文学部は、2023年7月11日(火)～7月14日(金)、理学部は9月13日(水)～9月27日(水)の間に、「出願資格事前審査申請書」〈本学所定用紙〉に必要書類を添えて申請してください。審査内容により提出書類が異なりますので、お早めに本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。

本申請書は、本学ホームページよりダウンロードすることができます。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/shikakushinsa.pdf>

2. 出願書類

〈全般〉

Q2-1. 英語圏以外の国の学校で、英文での証明書の発行はできないと言われました。

A2-1. 提出書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳を添付してください。

翻訳は、学校・公証役場・大使館等の公的機関でおこなってください。

Q2-2. 外国学校発行の各種証明書類と資格証書が一部しか手元にない場合、原本提出の必要はありますか？

A2-2. コピーの提出を認めており、原本の提出は不要です。なお、資格試験の場合は、原本または原本証明済みのコピーの提出が必要です。

Q2-3. 外国学校発行の各種証明書類と資格証書は、厳封の必要はありますか？

A2-3. 厳封は不要です。各自で開封し、年・月が正しく記入されているか、アルファベットに間違いがないか、記載内容に誤りや不足がないか、出願要件を満たした内容であるか、必ず確認した上で提出してください。

Q2-4. 志願票の入学(転・編入学)の年・月、卒業・修了(退学)の年・月の記載が自分の出入国日か、提出する証明書の日付のどちらを記載すればよいか分かりません。

A2-4. 提出する証明書と合わせてください。

〈成績証明書について〉

Q2-5. 「A外国高等学校出身者」の出願希望者で日本の高等学校に在籍したことがありますが、在籍期間が短期間のため、成績証明書の発行は出来ないと日本の高等学校から言われました。

A2-5. 在籍期間証明書を発行してもらうように、日本の高等学校に依頼してください。

〈在籍期間証明書について〉

Q2-6. 在籍期間証明書は、学習院大学の所定用紙でなくてもよろしいですか？

A2-6. 出身学校で作成されたものがある場合は、本学の所定用紙を使用する必要はありません。

なお、成績証明書に入学(転入)・卒業(転出)年月が明記されている場合、本証明書の提出は不要です。本学所定用紙は、本学ホームページからダウンロードすることができます。

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/related/request/download/overseasreturn.html>

〈資格証書 (TOEFL® 等)〉

Q2-7. TOEFL® 実施事務局からのスコア票が未着の場合、My Home Page* の "View Score" 出力画面を公式スコアとして提出しても良いですか？【法学部・経済学部】

*注) 米国 ETS の TOEFL® テスト公式ホームページ上で作成できる個人のアカウントページ

A2-7. 認められません。本学では、Official Score Reports (レポート上は Institutional Score Report と記載) または Test Taker Score Report (ETS が発行し郵送されたものは認めます。ETS アカウント上でダウンロードしたものの印刷は認めません。) の提出を求めます。

Q2-8. 国際バカロレア (IB) 試験本部からの成績評価証明書および Diploma が手元に届かず、出願期間内に提出することができません。その場合、志願票の「受験した統一試験」の欄には記載できますか？

A2-8. 出願期間内に受験結果を提出することができない場合は、記載することができません。

ただし、試験本部からの成績通知、Diploma 送付が遅れる場合でも、出身高等学校が、成績と Diploma が授与されたことを記載した証明書を発行した場合は、その証明書を資格証書として受理します。また、志願票にも記載することができます。

Q2-9. 法学部では、出願資格の一つに「自身の語学力を示す外国語検定試験の合格を証明する書類または公式スコア」があげられていますが、対象となる言語と検定試験はどのようなものですか？また、目安となる語学力のレベルはありますか？

A2-9. 対象となる言語として想定しているのは、主に英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国語などです。検定試験の合格を証明する書類またはスコアとして提出可能なものの例は以下の通りですが、これらに限るものではありません。

【英語】 TOEIC®、TOEFL® iBT、GTEC、ケンブリッジ英語検定、英検、IELTS、TEAP、TEAP CBT

【フランス語】 DELF、実用フランス語技能検定

【ドイツ語】 ゲーテ・インスティテュートの検定試験、ドイツ語技能検定試験

【スペイン語】 DELE、スペイン語技能検定

【中国語】 HSK、中国語検定試験、中国語コミュニケーション能力検定 / TECC

【韓国語】 ハングル能力検定試験、韓国語能力試験

なお、英語に関しては、ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) のレベル B1 以上を目安としてください。他の言語に関しては、可否を総合的に判断するにあたり、検定結果やスコアの提示を積極的に評価します。

また、複数種類の検定試験も可とします。なお、志願票に記載する場合は必ず証明書を提出してください。

3. 入学後の授業について

Q3. 日本語の能力に不安があります。入学後、英語のみの授業で卒業できますか？

A3. 英語のみの授業で卒業は出来ません。日本語による講義を理解する能力を有している必要があります。

17 入学検定料の返還について

入学検定料返還の対象となる理由

以下のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料（または過剰納入分）を返還いたします。

1. 書類未提出：入学検定料を納入したが、出願書類を出願期間内に提出しなかった。
2. 期間外振込：振込期間後に振り込まれた場合。
3. 過剰納入：入学検定料を適正な金額より多く納入した。
4. 出願不受理：入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により、出願が受理されなかった。
5. その他：本学が認める特別な理由により、入学検定料返還の対象となった。

入学検定料の返還手続（郵送に限る）

必要書類①・②を簡易書留で2024年2月末日までに郵送してください。（消印有効）

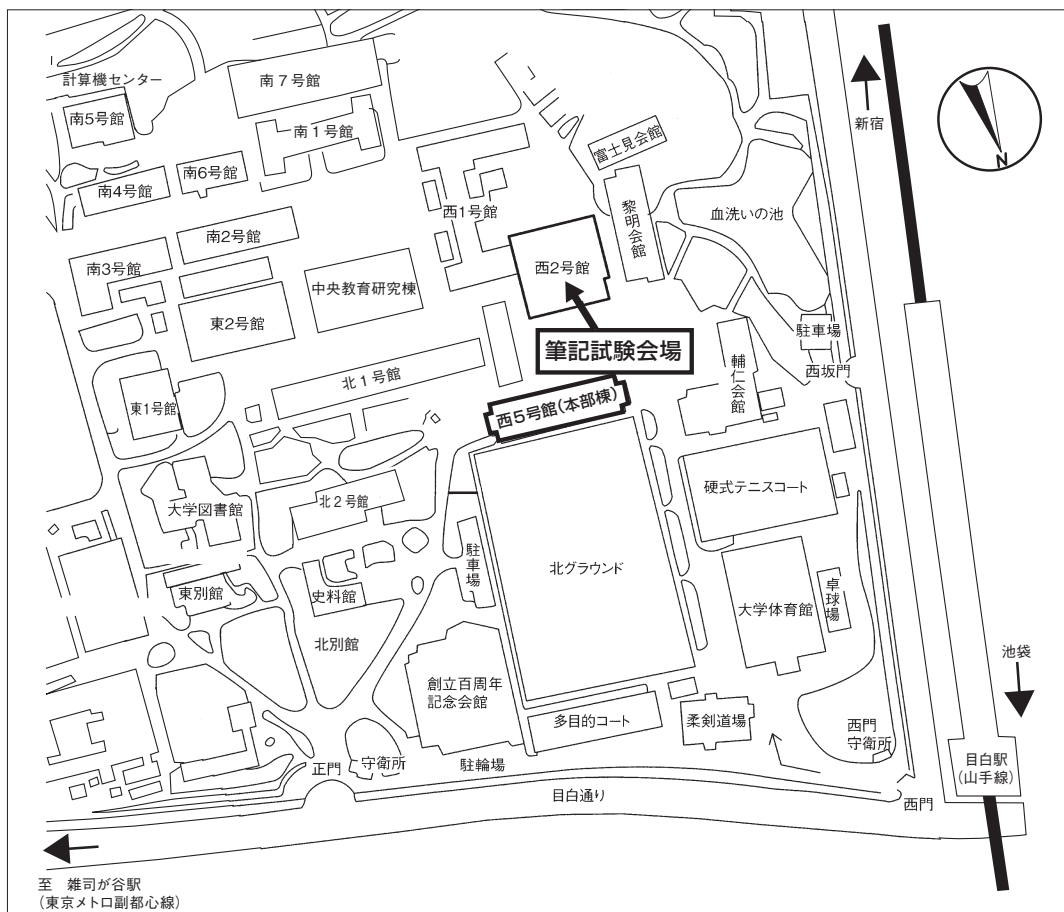
(宛先) 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
学習院大学アドミッションセンター

※封筒の表面に「入学検定料返還願在中」と朱書きしてください。

- ① 入学検定料返還願（本学所定用紙）
「入学検定料返還願」の太枠内に必要事項を記入してください。「入学検定料返還願」は本学ホームページからダウンロードするか、アドミッションセンターまでご請求ください。
- ② C票／振込金受取書（本人保存）
「入学検定料返還願」の裏面に、入学検定料を納入した際のC票／振込金受取書（本人保存）を貼付してください。
入学検定料返還願が受理されてから、指定の口座に入学検定料を振込むまで3週間程度時間がかかりますので予めご承知おきください。なお、振込手数料については、返還することができません。

18 構内案内図

アドミッションセンターは、案内図中央に位置する西5号館（本部棟）4階です。



(会場は変更になる場合があります)

交 通：JR 山手線 目白駅下車 徒歩3分
東京メトロ副都心線 雑司が谷駅下車 徒歩10分
*自動車による入構、駐車はできません。

試 験 場：筆記試験一法・経済・文学部：西2号館
理学部：受験票送付時にお知らせします。
面接試験一試験当日にお知らせします。

※お問い合わせは、下記宛に電話でお願いいたします。

学習院大学 アドミッションセンター (西5号館4階)

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 TEL (03) 5992-1083・(03) 5992-9226

電話受付時間 平 日：9：00～11：30、13：00～16：30

土曜日：9：00～12：00

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>